

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	企画部政策企画課		■担当係	秘書係
■評価事業名称	北上しらゆり大使事業			
■評価事業コード	010100 - 707	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり		
	■基本施策	04 信頼ある開かれた行政の推進		
	■施策	02 広聴活動の充実		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	首都圏での市の紹介宣伝及び市政に関する意見提言聴取、小中学生及び市民等への首都圏情報や体験等を紹介。懇談会の開催、小中学校及び市民等への講師派遣、PR活動をサポートする名刺の支給			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成 26 年度事業計画	平成 26 年度事業量実績
01	北上しらゆり大使事業	ふるさと大使、市民	・懇談会開催1回□(北上市)□第8期大使委嘱□大使提言庁内共有□データ整理1回	・懇談会開催1回□(北上市)□第8期大使委嘱□大使提言庁内共有□データ整理1回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費	538	901	270	651	
人件費	2,190	1,731	2,443	2,516	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,728	2,632	2,713	3,167	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標の説明
01	懇談会の開催／名刺の配布	2	1	1	1	市政に対する助言、提言及び情報交換を1回開催した。本年度は任期満了のため新たに19人を委嘱した(再任18、新任1)。また、懇談会は北上市で開催した。

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

02	小中学校等へ講師派遣／広報紙への寄稿	0	1	1	1	大使のこれまでの体験や経験、首都圏の情報などを児童、生徒及び市民に伝えることを目的として講師派遣1回。
03	首都圏での市の紹介宣伝及び市政に関する意見提言聴取、小中学生等への首都圏情報や体験等を紹介	2	1			

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 ☒ A. 順調 ☐ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	達成状況の分析 大使懇談会の開催を通して、北上市の現状をふまえ、更なる市勢発展のために様々な助言をいただいている。また、しらゆり大使の名刺を定期的に配布し、それぞれの活動の中で市のPRを行っていただいている。	問題点・課題等 行政マネジメントシステムの中で大使からの提言等をしっかり施策に反映していく必要がある。	
1. 直接的な受益者の範囲 ☒ 不特定多数に及ぶ ☐ 特定されるが多数に及ぶ ☐ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☐ 大きな不利益やリスクが生じる ☒ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☐ 類似の事業はない ☒ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する	
4. 事業へのニーズの変化 ☒ ニーズが高まっている ☐ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☐ 順位が中程度 ☒ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☒ 民間委託等の拡充は難しい ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☐ 今以上の効率化や改善は難しい ☒ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい	
■今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☒ II. 継続 ☐ III. 縮小・要改善 ☐ IV. 民間活用・協働事業化 ☐ V. 廃止・休止 ☐ VI. 完了			補足説明